

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：大分

グループ：グループ5

2022. 9. 2 3

だれでもいつでも同じ環境へ!!

現状

今の日本のコミュニケーションの現状はインターネットを使うことによって、オンラインで気軽にコミュニケーションをとる事が出来ます。

しかし、インターネットの繋がらない所や学校に行きたくても行けないという現状があります。

意見

Wi-Fi・電波の改善

- ・ 災害時や電波の繋がらない地域に住んでいる人にいつでもどこでも繋がるようにしてほしい。
- ・ 多人数でも耐えられるようなネット回線を配置してほしい。一人一人が他地域の人と交流できるようにしてほしいから。
- ・ 学校のオンライン授業やオンラインライブ、イベントなどで画面にでている人を機械で映し出されるようにしてほしい。臨場感を味わいやすく授業に集中しやすいから。
- ・ 自分達で設定できるようにインターネットやテレビで副音声、字幕、手話をつけてほしい。

メリット

- ネットがいつでもどこでも使える。
→ 災害時でも安心して使える。
- 授業やライブでもスムーズに簡単に見れる。
→ 止まったり、落ちたりしない。
- 誰でも同じ環境で同じことができたり、楽しめる。
→ **全員平等！！**

etc

提言

動画等の副音
声・手話モード
などの追加

NTTなど

→ **どの地域にも** つながるWi-Fi開発をお願いします。

テレビ/ネット関連会社など → システムの開発

機材会社

→ 機材をもっと **手軽に購入** できるようにしてほしい

私たち → 外に出る、使い方を学ぶ

引きこもりにな
らないように

だれでもいつでも同じ環境へ!!

以上で、Group⑤の発表を終わります。

Thank you for listening!!